

2011年、東日本大震災の直後、ベトナムのThanhさんという警察官が福島
の警察を応援をするために被災地に派遣されました。そこで一人の、寒さ
でふるえながら食料配給の列にならんでいる9歳の男の子と出会いました。
その子は両親、弟妹を震災でなくした子でした。

以下はベトナム、ベトバイオ紙の記事引用です。

「彼が寒そうに震えているのを見て、私は警察のコートを脱いで、彼に羽織
り、夕食のパックを渡した。

彼がすぐに食べると思っていたが、彼は配給用の食料箱の中にパックを置
いて再び列に戻ってきた。

私のびっくりした眼差しに対して、彼は、

「ほかの多くの人々が、僕よりもおなかを空かせているだろうから、そこに入
れて公平に配ってもらおうと思った」と語った。

それを聞いて、私は急いで顔をそらし、涙を隠した。

最も困難な時に、9歳の男の子が大人の私に、人としての道を教えてくれると
は思いもよらなかった。

9歳の男の子でも、忍耐強く、困難に耐え、他人のために犠牲になること
ができる日本人という民族は、きっと偉大な民族だと思う。

日本は最も困難な状況に直面しているが、必ずやより強く再生するに違
ない。」

引用終わり、以下は震災直後のツイッター等SNSです。

- ◎一回の青信号で1台しか前に進めない中、譲り合い、穏やかに運転している姿に感動した。
交通が5分以上完全マヒするシーンもあったが、10時間の間お礼以外のクラクションの音を耳にしな
かった。日本がますます好きになった。(外国の方)
- ◎昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパンを
配給していた。こんな喧噪のなかでも自分にできることを見つけて実践している人に感動。
心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。
- ◎ディズニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以
上にたくさんもらって「何だ?」って一瞬思ったけど、その後その子たちが、避難所の子供たちにお
菓子を配っていたところを見て感動。
- ◎金持ってそうなおじさんが地震直後、うちのコンビニでほぼ全商品買ったんだ。
周りの客も、レジを手計算で打ってた俺も正直、金にもの言わせて独占するなんて、なんてカスなんだと
思ってたけど、買い占めた商品を駐車場で広げてその場にいた人に配布してた。
配布終わってからいいんですか? って聞いたら、うちには最低限の食材あるし金も持ち歩いてるから、
今近所の人にできることをしたい。次のコンビニ行くからまたね、そうやって立ち去った。
今は浪人フリーターやってるけど、いつかあんな大人になりたいと強く思った。
- ◎ぜんぜん眠っていないであろう旦那に、「大丈夫? 無理しないで。」とメールしたら、
「自衛隊なめんなよ。今無理しないでいつ無理するんだ? 言葉に気をつける。」と返事が。
彼らはタフだ。肉体も、精神も。
- ◎駅で待ちくたびれていたなら、ホームレスの人達が寒いから敷けて段ボールをくれた。
いつも私達は横目で流してるのに。あたたかいです。

